

焼岳
噴火

観測活動始まる

信大、東大地震研など

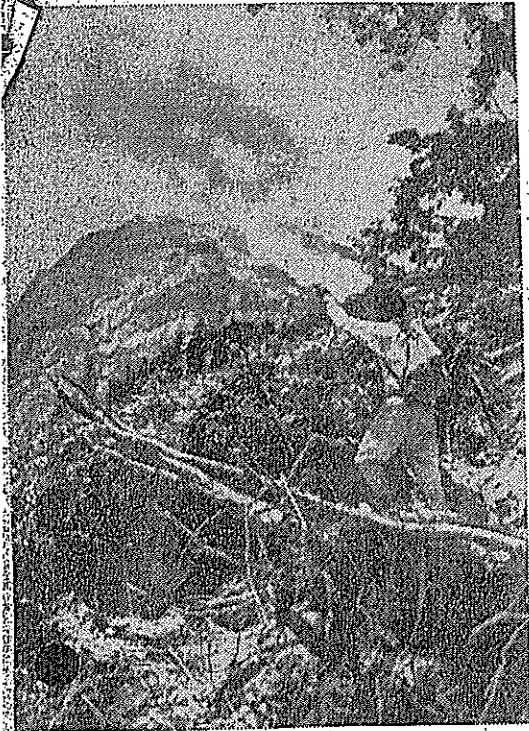
噴煙をあげつづける北ノ焼岳の火山観測のため、二十日東大地震研究所、信大などの観測班が上高地にはいり、活動を始めました。十九日午後再び三回にわたって爆発、高熱の泥流を大正池に向かって押し出した焼岳はその後、噴煙も少なくして噴動している。

八合を観測器材を積んだ車の上で、高地にはいり、安曇郡安曇村松本子ルを本部として焼岳山頂への地震計を配置、観測を始めました。同地震研究所村井地蔵も地震面の調査で入山、信大地質学教室小林剛夫教授を主任とする観測班もはいる。

○ハインツゴースの無煙爆発、たぐの灰をあげました。焼岳は火山灰でまじり、雨降し、大雨だが、雨になると焼岳はますます危険もあるといふ。

○火山灰一色にぬりつぎ、おいて上高地にもまじり、山の緑がよみがえり、二十日は快晴、上高地の住居もまじり、風の吹く。新名所、噴煙の登山客の姿も見られる。

○観測班は、約三週間の予定で地震観測を行い、爆発後の活動、今後の状態を調べる。水主任教授は二十五日の上高地にはいり、それまでに観測の資料を集めたい。



焼岳山ろくで測定器の線を張る東大地震研究所員

焼岳の爆発続く

6/20 毎日

【上高地で柳本、田中記者】十七日夜、爆発した焼岳は、二晩過ぎた十九日も相変わらず噴煙を吹き上げ、噴動を続けているが、同日午後一時十分ごろ再びかなり

の爆発が二回あり、上高地の人たちは皆外へ飛び出すほどだった。

【大正池からみると噴火口の一番下の噴煙は、登山道に付近から、色の濃い泥流のようなものが、長さ四、五百メートル、数十分間わたり大正池に向かって流れ出している。

【松本】松本測候所は十九日午後「焼岳の爆発は今後も続くので登山はしない。また降雪中積もった灰が泥流となって河川の流れを変えたり、鉄砲水になる恐れがある」と注意報を出した。

すさまじい泥流

【小樽】東大地震研究所平賀士郎、高橋助郎両技者は火山観測を行なうため十九日、浅間山にある浅間火山観測所から種子地蔵軒八

十九日午後、流れ出した泥流はすさまじい。現場近くには、沢田厚生君国立公園管理員はつぎのようにつづった。

十九日午後、流れ出した泥流はすさまじい。現場近くには、沢田厚生君国立公園管理員はつぎのようにつづった。

口、焼岳小原付近から黒い流動物があふれ出し、見る間に噴煙五、六分の大石がコロコロ動き出し、直徑七センチの大木もメリメリ押し倒された。無意味な動物の鳴き声は、はげしい泥流の音にまぎれなくなった。

【信州大でも】松本信州大学文学部地質学教室では二十日、小林国夫教授ほか職員五人、学生数人の調査班を送る。

【松本】松本測候所は十九日午後「焼岳の爆発は今後も続くので登山はしない。また降雪中積もった灰が泥流となって河川の流れを変えたり、鉄砲水になる恐れがある」と注意報を出した。

【観測班、現地に出発】

正面ルートの登山路をよって噴煙の音を立てて登り込み、約千五百メートルの所に流れて大正池にかかるところで止まった。それ以来、噴火口から聞こえていた噴動はヒタヒタとやみ、また煙が田

岐阜日日新聞

創刊83年
 発行所
 岐阜日日新聞社
 岐阜市今小路9
 電話代表 岐阜65151番
 © 岐阜日日新聞社 1962

北ア焼岳が爆発

中尾部落17戸など避難

「高地」北ア焼岳は午後九時五分ごろ、ものすごい音と共に爆発。頂から黒煙が噴き出し、土地は火の柱が見え、午後十一時なご焼岳が上燃の波の波の波に燃えつづけている。この日は焼岳の噴火の被害は約二百人。ほとんどが中尾山中に山したが、焼岳小屋は約千人が泊まっているといわれ、よく山を下りて避難小屋は燃え戻し入りがおぼろげで、間もなく燃えつきつづけている千の救助隊が現場に向かっている。

【岐阜】岐阜縣桂川町にいた「北ア」焼岳の中尾部落は十七戸、十七戸が避難している。避難先は、焼岳から約二十分先の北ア焼岳の避難小屋に避難している。焼岳は、午後九時五分ごろ、ものすごい音と共に爆発した。噴火は、約二時間続いた。焼岳は、約二時間続いた。焼岳は、約二時間続いた。焼岳は、約二時間続いた。



帝岡本小集理人村本博幸
 (北ア焼岳救助隊の隊員)が
 オウムの鳴き声と震動が聞こえて外へ飛び出し、山頂に上がった。間もなく、山頂に黒い煙が立ち上り、山頂が白煙に包まれた。煙が降り始めたが、山頂は火の柱が見え、山頂の出口は燃えている中



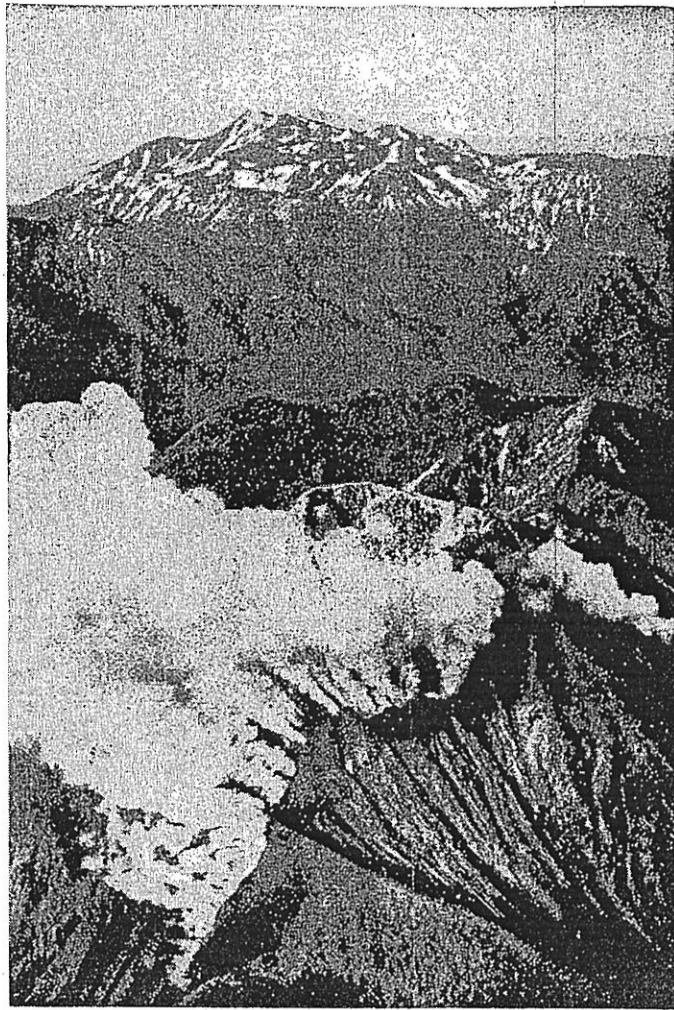
爆発を起こした焼岳

腰、腰を刺さっている。私一人は、避難先で避難した。避難先は、約二時間続いた。

小爆発と発表

【岐阜】岐阜縣桂川町は十七日午後十一時半、「北ア」焼岳は約二時間続いた。焼岳は、約二時間続いた。焼岳は、約二時間続いた。焼岳は、約二時間続いた。焼岳は、約二時間続いた。焼岳は、約二時間続いた。焼岳は、約二時間続いた。焼岳は、約二時間続いた。焼岳は、約二時間続いた。

岐阜日日新聞 夕刊



爆発し噴煙あける焼岳。後方は雪をいたくは乗鞍岳(共同特別機から)

岐阜日日新聞 昭和37年6月18日付掲載 (現岐阜新聞)

共同通信社配信

小屋の二人助かる

【焼岳 爆発】降灰でかすむ上高地

【上高地】十日夜半から、焼岳(標高、四五一〇)が昭和七年の三本木で噴火。焼岳小麓にいた二人の登山客も、二人は登山客の一人も助かり、上高地一帯は降灰でかすむ。

【上高地】十日夜半から、焼岳(標高、四五一〇)が昭和七年の三本木で噴火。焼岳小麓にいた二人の登山客も、二人は登山客の一人も助かり、上高地一帯は降灰でかすむ。

【上高地】十日夜半から、焼岳(標高、四五一〇)が昭和七年の三本木で噴火。焼岳小麓にいた二人の登山客も、二人は登山客の一人も助かり、上高地一帯は降灰でかすむ。



【上高地】十日夜半から、焼岳(標高、四五一〇)が昭和七年の三本木で噴火。焼岳小麓にいた二人の登山客も、二人は登山客の一人も助かり、上高地一帯は降灰でかすむ。

【上高地】十日夜半から、焼岳(標高、四五一〇)が昭和七年の三本木で噴火。焼岳小麓にいた二人の登山客も、二人は登山客の一人も助かり、上高地一帯は降灰でかすむ。

怒り続ける焼岳

無気味な地鳴り

火山ガス鼻をつく

【飛騨】北ア焼岳(二、四五八〇)が大正四年いらいたびたび鳴動していたが、四十七年ぶりの大爆発をした。吉永郡上室村中尾部客側の山頂直下、数カ所から噴出する噴煙は十八日夕刻になっても衰えず、中尾部客と長野県上高地一帯は、怒れるイオウの山におののき続けている。こんどの噴出の規模は十八日午後七時現在、いまま噴煙中の朽木具那須岳とはほぼ同程度のものとみられている。(写真はけり狂う焼岳を撮影する見物客が十八日午後二時撮影)

焼岳の噴煙が、大爆発後、黒煙色に色づきました。飛騨山頂直下、数カ所から噴出する噴煙は、十八日夕刻になっても衰えず、中尾部客と長野県上高地一帯は、怒れるイオウの山におののき続けている。こんどの噴出の規模は十八日午後七時現在、いまま噴煙中の朽木具那須岳とはほぼ同程度のものとみられている。(写真はけり狂う焼岳を撮影する見物客が十八日午後二時撮影)



【飛騨】十八日午後四時、焼岳の噴煙が、大爆発後、黒煙色に色づきました。飛騨山頂直下、数カ所から噴出する噴煙は、十八日夕刻になっても衰えず、中尾部客と長野県上高地一帯は、怒れるイオウの山におののき続けている。こんどの噴出の規模は十八日午後七時現在、いまま噴煙中の朽木具那須岳とはほぼ同程度のものとみられている。(写真はけり狂う焼岳を撮影する見物客が十八日午後二時撮影)

火山灰かきわけ

無我夢中、はって脱出

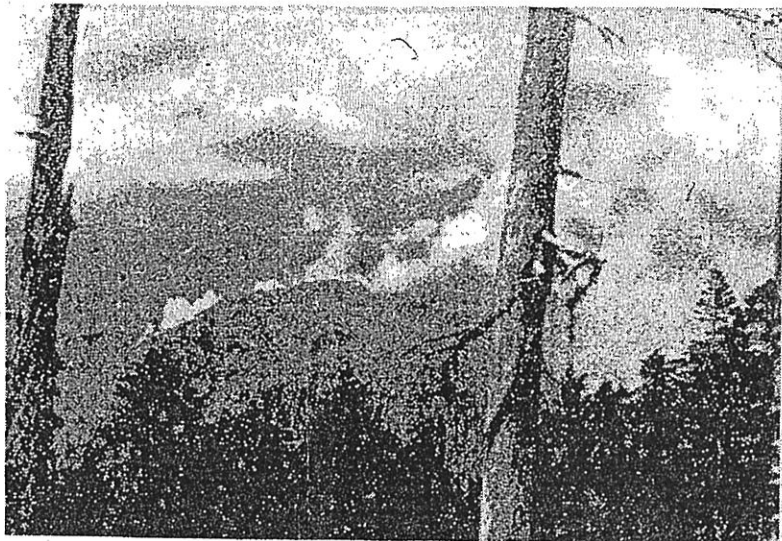
兄弟の 風見 小八郎 焼岳

【飛騨】十八日午後四時、焼岳の噴煙が、大爆発後、黒煙色に色づきました。飛騨山頂直下、数カ所から噴出する噴煙は、十八日夕刻になっても衰えず、中尾部客と長野県上高地一帯は、怒れるイオウの山におののき続けている。こんどの噴出の規模は十八日午後七時現在、いまま噴煙中の朽木具那須岳とはほぼ同程度のものとみられている。(写真はけり狂う焼岳を撮影する見物客が十八日午後二時撮影)

【飛騨】十八日午後四時、焼岳の噴煙が、大爆発後、黒煙色に色づきました。飛騨山頂直下、数カ所から噴出する噴煙は、十八日夕刻になっても衰えず、中尾部客と長野県上高地一帯は、怒れるイオウの山におののき続けている。こんどの噴出の規模は十八日午後七時現在、いまま噴煙中の朽木具那須岳とはほぼ同程度のものとみられている。(写真はけり狂う焼岳を撮影する見物客が十八日午後二時撮影)

【飛騨】十八日午後四時、焼岳の噴煙が、大爆発後、黒煙色に色づきました。飛騨山頂直下、数カ所から噴出する噴煙は、十八日夕刻になっても衰えず、中尾部客と長野県上高地一帯は、怒れるイオウの山におののき続けている。こんどの噴出の規模は十八日午後七時現在、いまま噴煙中の朽木具那須岳とはほぼ同程度のものとみられている。(写真はけり狂う焼岳を撮影する見物客が十八日午後二時撮影)

【飛騨】十八日午後四時、焼岳の噴煙が、大爆発後、黒煙色に色づきました。飛騨山頂直下、数カ所から噴出する噴煙は、十八日夕刻になっても衰えず、中尾部客と長野県上高地一帯は、怒れるイオウの山におののき続けている。こんどの噴出の規模は十八日午後七時現在、いまま噴煙中の朽木具那須岳とはほぼ同程度のものとみられている。(写真はけり狂う焼岳を撮影する見物客が十八日午後二時撮影)



衰えながらも無気味な噴煙を上げる焼岳
|| 猫岳のふもとから

噴煙も衰える

焼岳 地元民ホッと一息

【岐阜県】焼岳の噴煙が、十九日午後、約四分の一に減った。地元民はホッと一息を吐いた。しかし、噴煙が再び増える可能性がある。十九日午後、焼岳の噴煙は、約四分の一に減った。地元民はホッと一息を吐いた。しかし、噴煙が再び増える可能性がある。十九日午後、焼岳の噴煙は、約四分の一に減った。地元民はホッと一息を吐いた。しかし、噴煙が再び増える可能性がある。

雨降れば火山灰流出

【岐阜県】焼岳の噴煙が、十九日午後、約四分の一に減った。地元民はホッと一息を吐いた。しかし、噴煙が再び増える可能性がある。十九日午後、焼岳の噴煙は、約四分の一に減った。地元民はホッと一息を吐いた。しかし、噴煙が再び増える可能性がある。

が、これが認められれば、火山灰が流出する可能性がある。十九日午後、焼岳の噴煙は、約四分の一に減った。地元民はホッと一息を吐いた。しかし、噴煙が再び増える可能性がある。

中核部が、十九日午後、約四分の一に減った。地元民はホッと一息を吐いた。しかし、噴煙が再び増える可能性がある。十九日午後、焼岳の噴煙は、約四分の一に減った。地元民はホッと一息を吐いた。しかし、噴煙が再び増える可能性がある。

駄々っ子焼岳

乗鞍岳から見る再度の爆発

モクモクと噴煙

視界ゼロ 灰色の目かくし

「乗鞍岳は、昭和十九年四月に噴出した後、昭和二十一年六月に再び爆発した。その時、乗鞍岳は、乗鞍岳の山頂を、灰色の目かくし、視界ゼロの状態に陥れた。その時、乗鞍岳は、乗鞍岳の山頂を、灰色の目かくし、視界ゼロの状態に陥れた。その時、乗鞍岳は、乗鞍岳の山頂を、灰色の目かくし、視界ゼロの状態に陥れた。」



「乗鞍岳は、昭和十九年四月に噴出した後、昭和二十一年六月に再び爆発した。その時、乗鞍岳は、乗鞍岳の山頂を、灰色の目かくし、視界ゼロの状態に陥れた。その時、乗鞍岳は、乗鞍岳の山頂を、灰色の目かくし、視界ゼロの状態に陥れた。」

小爆発続々

「乗鞍岳は、昭和十九年四月に噴出した後、昭和二十一年六月に再び爆発した。その時、乗鞍岳は、乗鞍岳の山頂を、灰色の目かくし、視界ゼロの状態に陥れた。その時、乗鞍岳は、乗鞍岳の山頂を、灰色の目かくし、視界ゼロの状態に陥れた。」

深さ一メートルの泥流

中尾部落



一面の泥海、ひざまで埋まる焼岳の噴出物—上室村中尾で

「乗鞍岳は、昭和十九年四月に噴出した後、昭和二十一年六月に再び爆発した。その時、乗鞍岳は、乗鞍岳の山頂を、灰色の目かくし、視界ゼロの状態に陥れた。その時、乗鞍岳は、乗鞍岳の山頂を、灰色の目かくし、視界ゼロの状態に陥れた。」

「乗鞍岳は、昭和十九年四月に噴出した後、昭和二十一年六月に再び爆発した。その時、乗鞍岳は、乗鞍岳の山頂を、灰色の目かくし、視界ゼロの状態に陥れた。その時、乗鞍岳は、乗鞍岳の山頂を、灰色の目かくし、視界ゼロの状態に陥れた。」



流れ落ちる焼岳噴火の火山灰の泥流—中尾部落で



焼岳山下まで登って望む噴煙

泥流におののく

焼岳飛驒側の中尾部落

雨が来たら一ナメ

噴煙いくぶん衰える

【岐阜】岐阜県飛驒郡の焼岳噴火は、20日午後11時頃、噴煙が再び増え、噴煙の高さが約1000メートルに達した。噴煙は、噴火の中心部から、北西方向に流れ、中尾部落の上空を覆った。噴煙の色は、白から黒に変化した。噴煙の増えは、噴火の活動が再び活発化したことを示している。噴煙の増えは、噴火の中心部から、北西方向に流れ、中尾部落の上空を覆った。噴煙の色は、白から黒に変化した。噴煙の増えは、噴火の活動が再び活発化したことを示している。

【岐阜】焼岳噴火は、20日午後11時頃、噴煙が再び増え、噴煙の高さが約1000メートルに達した。噴煙は、噴火の中心部から、北西方向に流れ、中尾部落の上空を覆った。噴煙の色は、白から黒に変化した。噴煙の増えは、噴火の活動が再び活発化したことを示している。噴煙の増えは、噴火の中心部から、北西方向に流れ、中尾部落の上空を覆った。噴煙の色は、白から黒に変化した。噴煙の増えは、噴火の活動が再び活発化したことを示している。

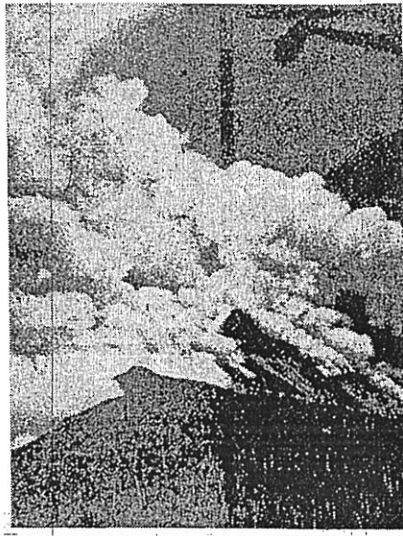
一面に火山灰と岩石

焼岳ま下の足洗谷一帯

【岐阜】焼岳噴火は、20日午後11時頃、噴煙が再び増え、噴煙の高さが約1000メートルに達した。噴煙は、噴火の中心部から、北西方向に流れ、中尾部落の上空を覆った。噴煙の色は、白から黒に変化した。噴煙の増えは、噴火の活動が再び活発化したことを示している。噴煙の増えは、噴火の中心部から、北西方向に流れ、中尾部落の上空を覆った。噴煙の色は、白から黒に変化した。噴煙の増えは、噴火の活動が再び活発化したことを示している。

【岐阜】焼岳噴火は、20日午後11時頃、噴煙が再び増え、噴煙の高さが約1000メートルに達した。噴煙は、噴火の中心部から、北西方向に流れ、中尾部落の上空を覆った。噴煙の色は、白から黒に変化した。噴煙の増えは、噴火の活動が再び活発化したことを示している。噴煙の増えは、噴火の中心部から、北西方向に流れ、中尾部落の上空を覆った。噴煙の色は、白から黒に変化した。噴煙の増えは、噴火の活動が再び活発化したことを示している。

【岐阜】焼岳噴火は、20日午後11時頃、噴煙が再び増え、噴煙の高さが約1000メートルに達した。噴煙は、噴火の中心部から、北西方向に流れ、中尾部落の上空を覆った。噴煙の色は、白から黒に変化した。噴煙の増えは、噴火の活動が再び活発化したことを示している。噴煙の増えは、噴火の中心部から、北西方向に流れ、中尾部落の上空を覆った。噴煙の色は、白から黒に変化した。噴煙の増えは、噴火の活動が再び活発化したことを示している。

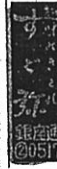


【通】なほも噴煙を上げ、赤り
輝ける半の火口を占むる。今
日、北嶽山岳、北嶽山岳
避難救助隊、今日、山岳の六
人は、二十日、現地調査に向か
う。火口跡を占むる。赤り

北嶽山岳 怒る焼岳を現地調査 うなり立てる火口

火山弾跡ハチの巣状に

【通】なほも噴煙を上げ、赤り輝ける半の火口を占むる。今日、北嶽山岳、北嶽山岳避難救助隊、今日、山岳の六人は、二十日、現地調査に向かう。火口跡を占むる。赤り



焼岳に観測陣

【通】なほも噴煙を上げ、赤り輝ける半の火口を占むる。今日、北嶽山岳、北嶽山岳避難救助隊、今日、山岳の六人は、二十日、現地調査に向かう。火口跡を占むる。赤り

【通】なほも噴煙を上げ、赤り輝ける半の火口を占むる。今日、北嶽山岳、北嶽山岳避難救助隊、今日、山岳の六人は、二十日、現地調査に向かう。火口跡を占むる。赤り

【通】なほも噴煙を上げ、赤り輝ける半の火口を占むる。今日、北嶽山岳、北嶽山岳避難救助隊、今日、山岳の六人は、二十日、現地調査に向かう。火口跡を占むる。赤り

【通】なほも噴煙を上げ、赤り輝ける半の火口を占むる。今日、北嶽山岳、北嶽山岳避難救助隊、今日、山岳の六人は、二十日、現地調査に向かう。火口跡を占むる。赤り

【通】なほも噴煙を上げ、赤り輝ける半の火口を占むる。今日、北嶽山岳、北嶽山岳避難救助隊、今日、山岳の六人は、二十日、現地調査に向かう。火口跡を占むる。赤り